

世界恒久平和の実現に向けて

富士見市長 星野光弘

先の大戦が終戦を迎えてから76年の

歳月が経とうとしています。母国のために戦場に向かい、命を落とさなければならなかった、そして、本国において空襲などに遭い、戦争の犠牲となられたすべての御霊の前に謹んで哀悼の誠を捧げます。また、これまで世界恒久平和に向け努力を続けてこられた方々に対し、心から感謝を申し上げます。

本年は、平和の祭典としてのオリンピックが我が国で開催されています。世界的なスポーツの祭典であり、世界平和が目的の一つでもあるオリンピックでは、スポーツの持つ力で紛争のない世界の実現を目指して、開催期間中の休戦を世界に呼び掛けるオリンピック休戦を提唱しています。

令和元年12月に開催された第74回国連総会において、186か国が共同提案国となり、本大会開催期間中の休戦決議が採択されました。こうした取組みに各国が賛同したことは、世界平和の実現に少しずつ進んでいると感じる一方で、休戦決議が必要であるということは、今も世界のどこかで争いが続いているという現実があるということ、

改めて実感しております。

戦争の悲惨さを知り、世界で唯一の被爆国である日本で暮らす私たちにとって、戦争は他人事ではありません。

今、私たちが平和な暮らしを享受できているのは、多くの尊い犠牲のうえに築かれていることを私たちは忘れてはなりません。そして、今後も揺らぐことのない不戦の誓いと世界の恒久平和を希求し続けることが必要です。

私は、57年ぶりに開催されている東京オリンピックが、世界中の人々が平和について考えるきっかけとなり、争いがなくなり、世界平和につながる大会となることを願っています。

本市では、昭和62年に非核平和都市を宣言し、毎年、平和の大切さについての啓発活動を行っています。また、広島・長崎の原子爆弾投下日と終戦記念日には、1分間の黙とうを呼びかけております。

市民の皆様におかれましては、終戦の日である8月15日を前に「富士見市非核平和都市宣言」をお読みいただき、一人ひとりが平和の大切さ、尊さについて考える機会にさせていただきたいと思っております。

富士見市非核平和都市宣言

私たちは 何よりも家庭の平和を願い世界の平和を願っています

しかし 地球をおおっている核兵器は世界の平和と安全を脅かしています

私たちは 広島・長崎の過ちを再び繰り返させてはなりません
私たちは 平和憲法を大切に
世界中の人びとと手をつなぎ
核をもつすべての国に

「今すぐ核兵器を捨てよ」と訴えます
この市民の声と願いを

非核平和都市 富士見市の宣言とする
一九八七年七月十九日 富士見市

黙とうを捧げましょう

市では、原子爆弾や第2次世界大戦で犠牲になられた方々のご冥福と、核兵器をなくし平和な世界が実現することを願い、次の日時に防災行政無線を通じ、市民の皆さんに1分間の黙とうのご協力をお願いしています。

【広島市原子爆弾投下日】

8月6日午前8時15分

【長崎市原子爆弾投下日】

8月9日午前11時2分

【終戦記念日】

8月15日正午

市民平和祈念のつどい

「平和の鐘を鳴らそう」

☎ 鶴瀬公民館 ☎049-251-1140

終戦の日に市役所正面ロータリーにある平和の鐘を鳴らし、平和を祈念します(無料、申込不要)。

とき 8月15日(日)午前11時40分～午後0時15分
(集合：午前11時30分、市役所正面ロータリー)

共催 市、市教育委員会、ピースフェスティバル実行委員会

協力 平和の鐘友の会

